

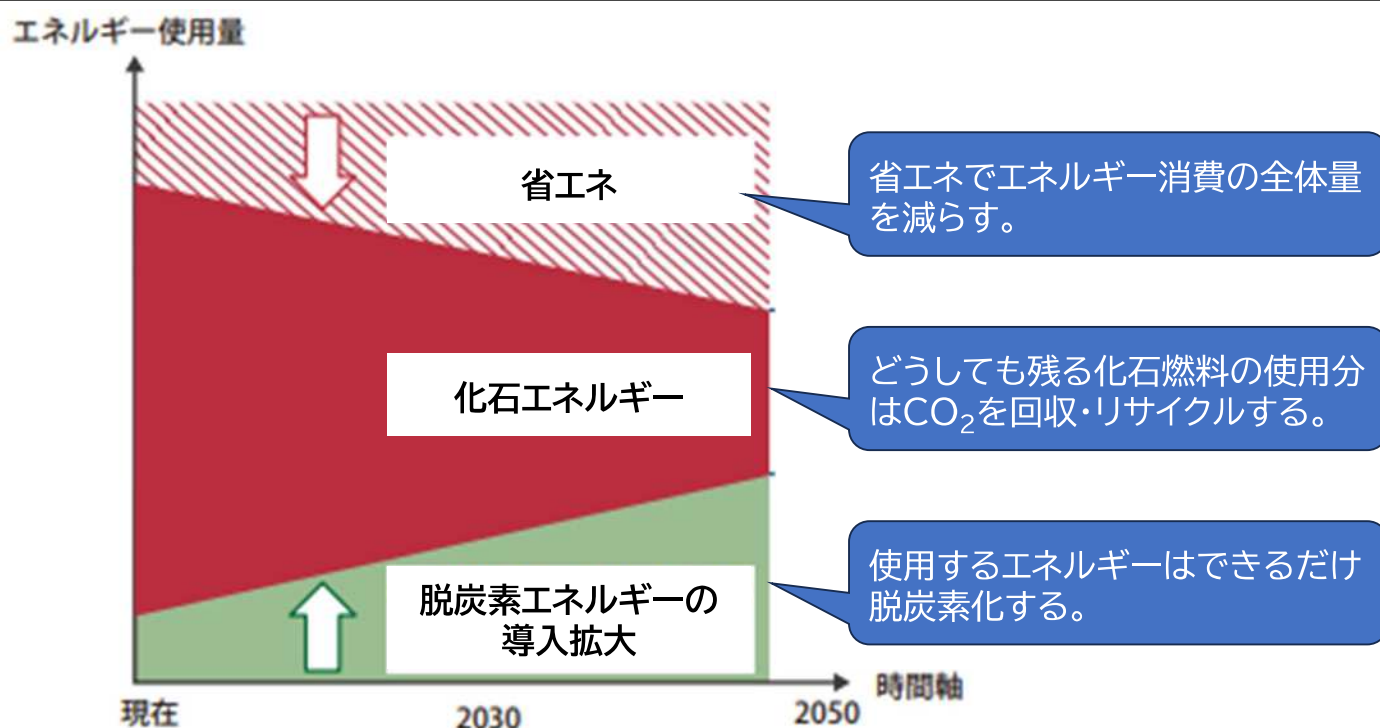
## 第5章 2050年を目指す脱炭素社会

- カーボンニュートラルに向けたエネルギーのイメージ
- 2050年に向けた更なる脱炭素化の方向性(カーボンニュートラルへの転換イメージ)

48

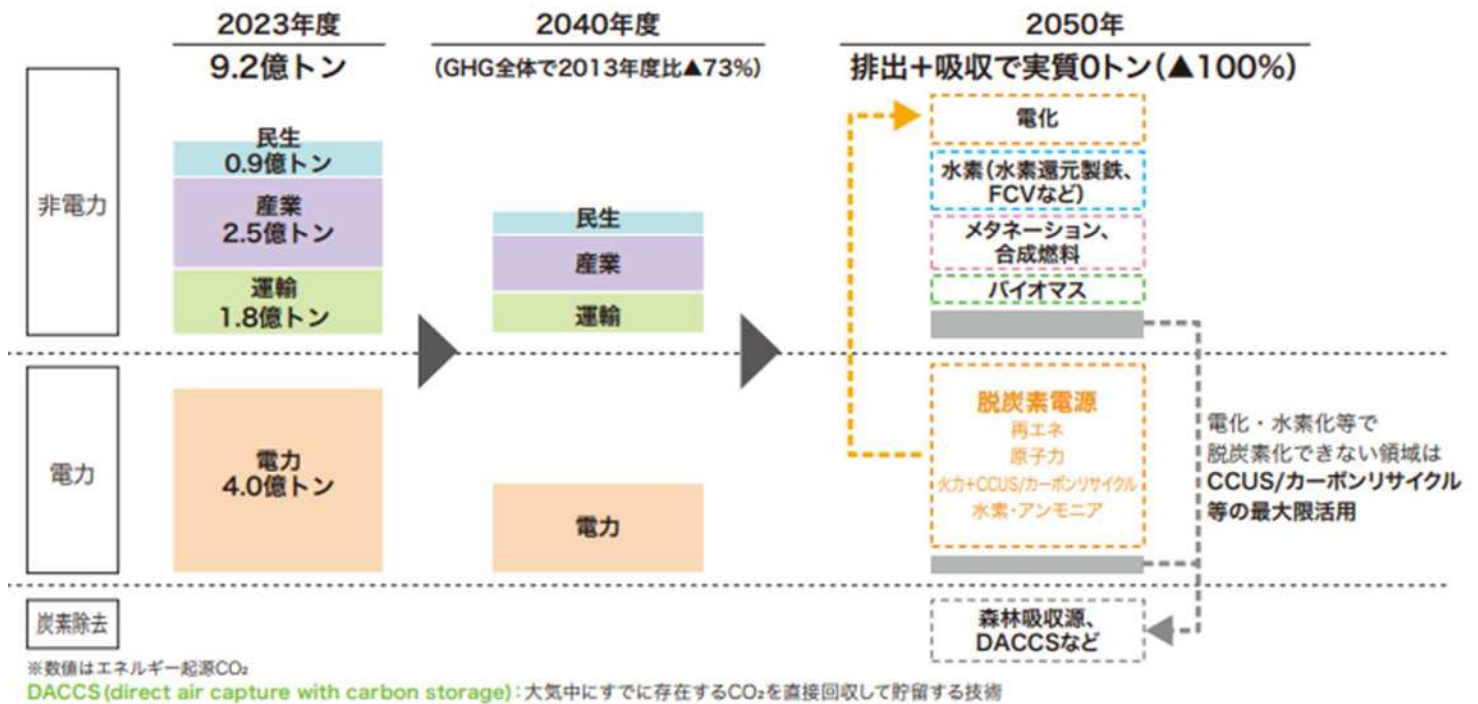
### カーボンニュートラルに向けたエネルギーのイメージ

化石燃料の大半を海外からの輸入に依存する我が国において、徹底した省エネルギーの重要性は不変ですが、今後、2050年カーボンニュートラルに向けて更に排出削減対策を進めていく上では、徹底した省エネルギーに加え、電化や脱炭素エネルギーへの転換に取り組んでいくことが重要です。



49

# 2050年に向けた更なる脱炭素化の方向性(カーボンニュートラルへの転換イメージ)



出典:日本のエネルギー 2025年度版(2026年2月/資源エネルギー庁)

50

## 北九州市が目指す2050年の脱炭素化社会

環境と経済の好循環による脱炭素化を軸に、都市や企業の価値・競争力を高め、快適で災害にも強く、誰もが暮らしやすい社会を目指す

全部門

### I エネルギーの脱炭素化

電力、熱、運輸などあらゆる分野で、これまで以上の省エネ、**電化**を進め、**再エネや水素等を最大活用**することで、化石燃料から脱却しエネルギー全般を脱炭素化

### II イノベーションの推進

産業部門

産学官の連携で、脱炭素化に必要な研究開発を加速させ、**イノベーションの早期実現**を図ることで、生産活動やサービスなど、**産業・経済社会**を脱炭素化

家庭部門  
業務部門

### III ライフスタイルの変革

**高い市民環境力を基礎に**AI・デジタル化等の社会変革を踏まえた、快適で質の高い、**環境配慮型ライフスタイル**に転換

2050年  
北九州市が目指す  
脱炭素社会  
「北九州モデル」  
(環境と経済の好循環)

### IV 気候変動に適応する強靱なまち

適応

気候変動の影響による被害が生じる前に気候変動適応を実践に移す先手先手のアプローチを行い、**脱炭素で、強靱なまちづくり**を推進

### V 国際貢献

近代産業発祥の地から「北九州モデル」を構築・展開し、**脱炭素社会の実現に地球規模で貢献**

51